

2024年度グローバル短期研修 (カンボジア) 報告

期間：2025年3月17日～3月25日 9日間

参加者：

国際教養学部 国際観光学科 2名

経営経済学部 経済学科 1名

人間科学部 人間健康科学科 2名

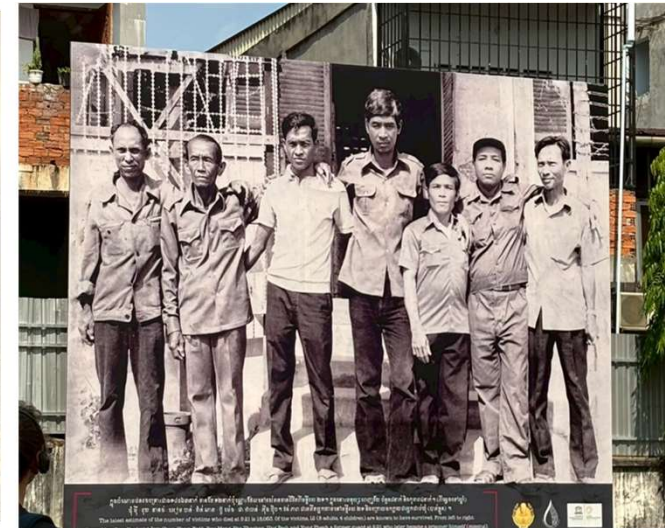
合計 5 名

他に、国際高校から 11 名の参加者があり、メンバー総合計 16 名で実施

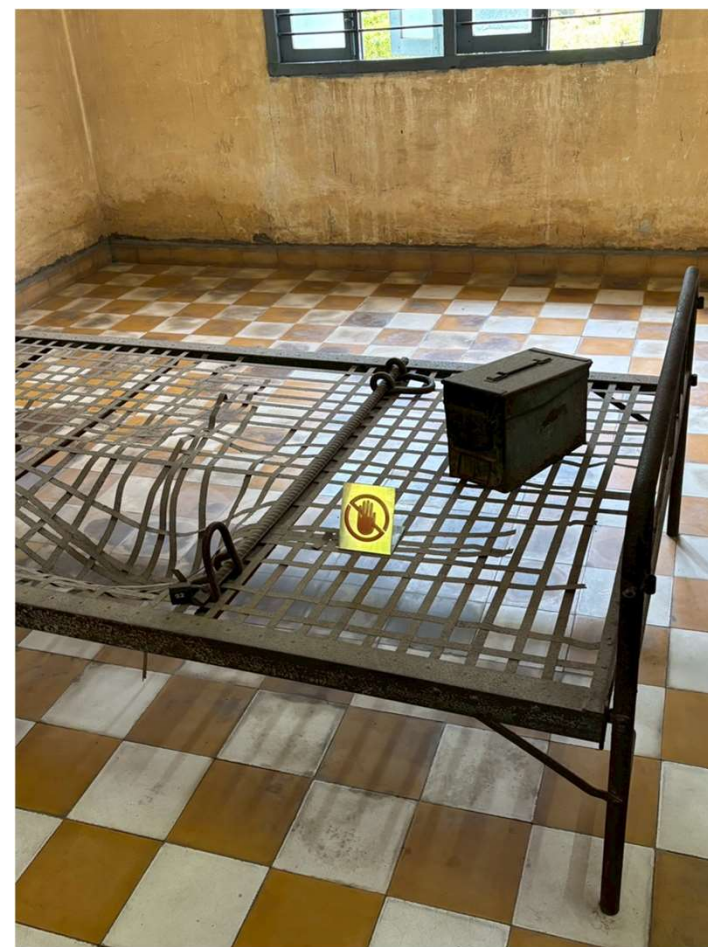
日程	内容メニュー	宿泊
3月17日（月）	関西空港発ベトナム経由でプノンペンへ	プノンペン泊
3月18日（火）	キリング・フィールド、トゥールスレン刑務所博物館、CHA訪問	プノンペン泊
3月19日（水）	社会起業家Sui Joh浅野代表講演・ショップ訪問、イオンモールカンボジア3号館での買い物ゲーム、イオンモールカンボジア須堯取締役の講演、買い物コンペ	プノンペン泊
3月20日（木）	セントラルマーケット訪問後、バスでプノンペンからシェムリアップへ移動	シェムリアップ泊
3月21日（金）	サンダン小学校訪問・運動会準備（体操を教えたり、遊び道具の説明など） 社会起業家 胡椒ソムリエ 木下滯那さんのセミナー	シェムリアップ泊
3月22日（土）	サンダン小学校での運動会（午前個人戦、午後団体戦）、閉会式	シェムリアップ泊
3月23日（日）	世界遺産アンコール遺跡群観光、アプサラ舞踊のディナーショー	シェムリアップ泊
3月24日（月）	ふりかえり、チェックアウトまで自由行動、シェムリアップからカンボジア出国	機内泊
3月25日（火）	ベトナム経由にて関西空港着後、解散	

トゥールスレン キリングフィールド

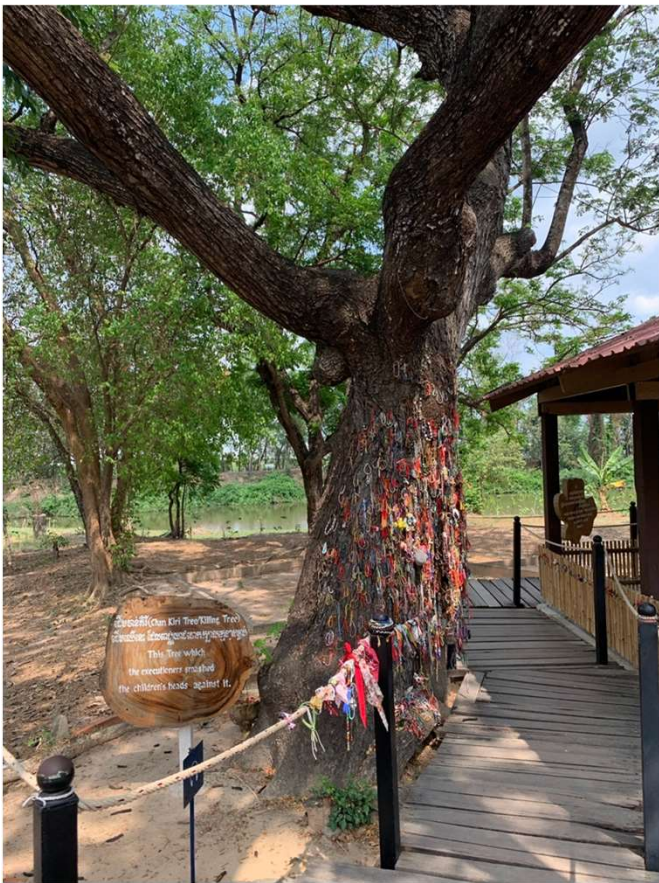
トゥールスレン収容所は、ポルポト政権時代にあった強制収容所。
元々学校だった場所を拷問や尋問のための施設として使用した。
ここで多くの人が拷問を受けた後、
キリングフィールド（処刑場）に送られた。



トゥールスレン



キリングフィールド



経営者の話

①Sui-joh代表 浅野佑介氏

②イオンモールカンボジア 代表取締役 須堯一樹氏

③胡椒ソムリエ Ray's Shop代表 木下滯那氏



買い物ゲーム

1. カンボジアの食文化
2. カンボジアの伝統工芸や文化
3. エコやサステナビリティ
4. 現地のライフスタイルに関する商品



運動会〈事前準備〉

- 準備体操や応援合戦の練習
- メダル、トロフィー作成
- 運動会当日の役割決め



運動会

〈1日目〉



準備体操の様子





かけっこの様子



運動会



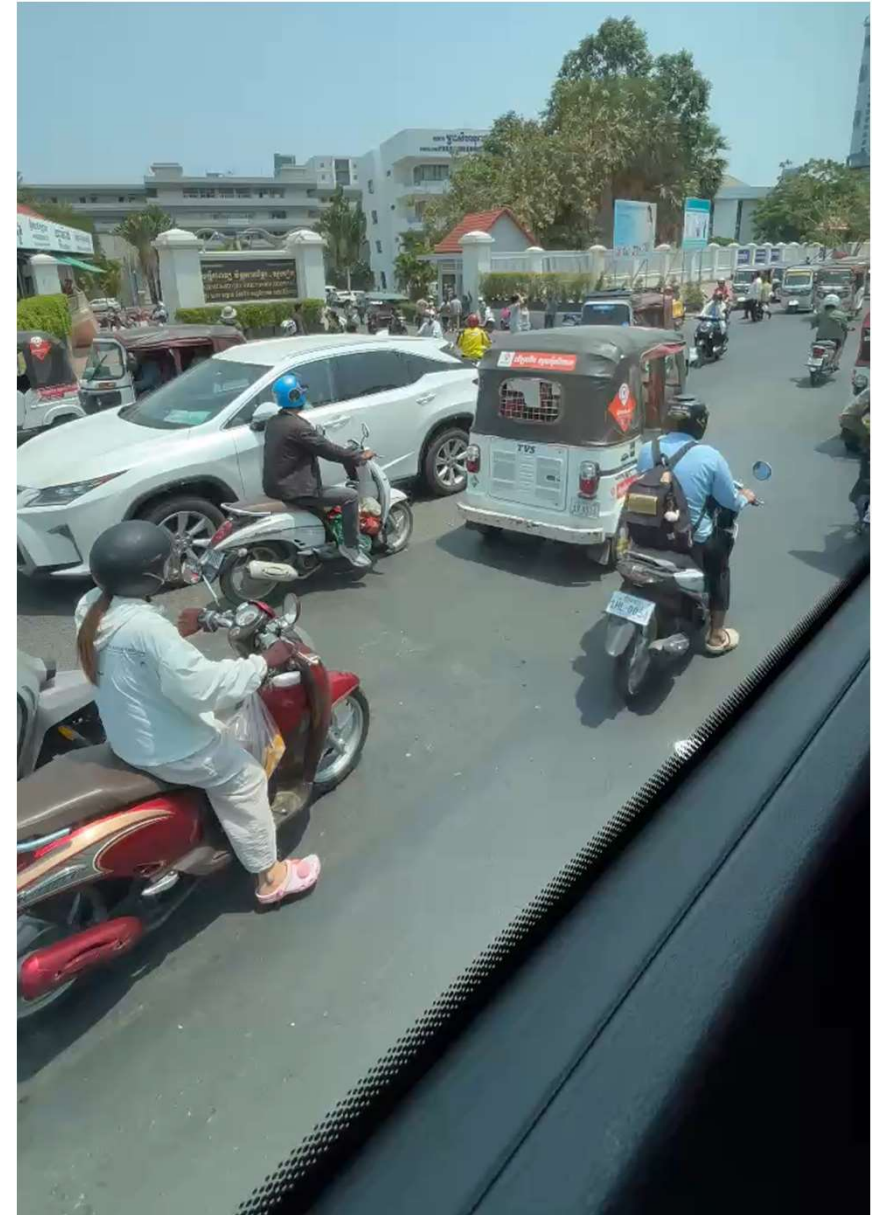
運動会のまとめ



日本との違い

- 交通マナー
- 建物、街の雰囲気
- インフラ（トイレ、水道）
- 食べ物

交通マナー



建物



インフラ（トイレ・水道・電気）



食事



高校生と研修を共に過ごして

高校生の積極性に大学生も触発されて、責任感を持ちながら班活動や運動会のグループ行動などに取り組むことができた。

また、年上ということもあり、リーダーシップを取る機会が多く研修前に比べてコミュニケーション能力や積極性を成長させることができた。

次回は高校生と事前にコミュニケーションをとるために事前学習に機会をもっと設けていただきたい。



謝 辞

奥田理事長、宮本学長
教職員の皆様

今回の研修に対し、いろいろな調整によって国際高校生との合同研修が実現し、無事に運動会ボランティアが終了しました。また奨学金についても、多大なるご支援をいただきまして、ありがとうございました。参加者一同、感謝申し上げます。

